

えがお大東っ子 第29号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyl/egaodaitoukko/>

『大東市教育大綱』(平成27年12月)

大東市では、教育大綱の策定に当たり、市長と教育委員会で構成される「大東市総合教育会議」で協議を重ね、平成27年12月に「大東市教育大綱」を策定しました。

今後はこの教育大綱を本市教育行政の柱として、教育施策の取組みを進めてまいります。



詳細はHPをご覧ください

小中連携教育の推進 ~連携から一貫へ~

大東市教育ビジョン後期基本計画のもと、確かな学力の育成をめざすため、授業方法の工夫改善や生徒指導の充実等について、小中学校が力を合わせて、さまざまな取組みを推進しています。全中学校区で実施している『英語教育・外国語活動』に関する授業方法改善及び学習環境整備の取組みに加え、各中学校区が研究テーマを決めて小中連携の推進に取り組んでいます。

大東市では、これらの取組みの成果を踏まえ、検討作業部会を立ち上げ、小中一貫教育の在り方について研究を進めています。

北条中学校区

アクセスプラン~6年生の中学校登校の取組み~

子どもたちの9年間の育ちを連続したものとし、とりわけ小学校6年生から中学校1年生へスムーズな移行ができることをめざす取組みで、今年で4年目になります。毎学期、6年生が中学校に登校し、中学校の生活を体験します。中学校入学への不安解消と期待や意欲の向上等、多くの成果が出ています。



6年生の中学校登校

諸福中学校区

特別支援教育の視点を取り入れた授業改善

大学の先生による定期的な学校巡回相談のもと、すべての子どもたちにとってわかりやすい授業(ユニバーサルデザイン)をめざして、学習環境や指導方法を工夫しています。小中合同研修会や小中交流研究授業を行い、特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりについて共通の視点で話し合っています。



小中合同研修会

四条・大東中学校区

生活規律・学習規律の確立

校区校長会や小中合同研修会を開催し、小中9年間を通しての生活規律・学習規律の確立をめざしています。児童会と生徒会の合同あいさつ運動や地域清掃等、児童生徒を主体とした取組みや地域とともに子どもを育てる取組みを実施しています。



南郷・佳道・深野・谷川中学校

道徳教育の充実

これまでの「道徳」が「特別の教科である道徳」として改められ、目標が「道徳性の育成」となりました。指導方法も今までの「読みとる道徳」から「考え、議論する道徳」へと質的転換を図り、問題解決的な学習や体験的な学習を積極的に導入することになります。そこで、中学校区として、小中合同研修会や公開授業研究会を実施し、授業改善に取り組みました。小中合同研修会では、教員が講師の先生の模擬授業を受け、道徳の進め方や方向性について共有しました。また、子どもたちの自己肯定感や意欲を高める取組みとして中学校の生徒会が小学校に出向き「朝のあいさつ運動」を行ったり、小中学生と一緒に道徳教育講演会に参加したりと、小中一貫した「道徳性の育成」をめざしています。



1年間のまとめと次年度に向けて

3学期に入り、1年間のまとめの時期となりました。各学校園では、これまでの取組みを振り返り、成果や課題をまとめ、次年度はその積み上げのもとに計画を立てることになります。子どもたちの日々の成長は緩やかで、目に見えて変化を感じることは少ないかもしれませんが、4月と今の子どもたちの姿を比べると、1年間の成長を感じることができるのではないのでしょうか。

本市では、平成21年度に10年間の基本構想のもと「学び合い、学び続ける明日の市民の育成」を基本理念とした『大東市教育ビジョン』を策定しました。次年度は、『大東市教育ビジョン』策定から8年目を迎えます。子どもたちの健やかな成長のためには、学校園はもちろん、社会全体で取り組むことが重要です。めざす子ども像を共有し、これまで以上に、学校園・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら、連携・協同し、子どもを中心に据えた教育環境を整えていければと思っています。引き続きご協力お願いいたします。

…みんなで体験しませんか

大東市ニュースポーツフェスティバル

障害者の社会参加の促進と生涯スポーツの推進をめざし、子どもから高齢者まで、誰もが参加できるスポーツの祭典を開催します。

第1部では、障害者スポーツ「シッティング・アジャタ」のデモンストレーションを行います。競技の説明を聞きながら模範演技を見ていただき、その後、体験することもできます。

第2部は、ニュースポーツの紹介と体験コーナーです。カローリング、ショートテニス、シャッフルボードなどの他にも楽しいニュースポーツがいっぱい!!

技術やルールが簡単なので、みんなで一緒に参加してニュースポーツを楽しみましょう。



- 日 時：平成28年3月5日（土）
午後1時から
- 場 所：大東市立市民体育館
- 持ち物：体育館シューズ持参
※水分補給は各自でお願いします。
- 参加費：無料

地域ファミリースポーツ中央大会

この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、ルールが簡単なニュースポーツを取り入れ、大東市スポーツ推進委員が開催しています。

種目は、毎年実施しておなじみのカローリングとキンボールに加え、スポーツ推進委員が考案した「ボール de ビンゴ」を行います。

いずれも1チーム4人で行いますが、1人でも参加できます。日頃、運動不足と感じている方、この機会に一度参加してみたいはいかがでしょうか？



- 日 時：平成28年3月6日（日）午前9時30分から
- 場 所：大東市立市民体育館
- 種 目：カローリング、キンボール、ボール de ビンゴ
- 持ち物：体育館シューズ
※水分補給は各自でお願いします。
- 参加費：無料

大人が知らない子どものネット利用

インターネットインフラの普及に伴い、全国のあらゆるエリアでネット利用する子どもたちが増えてきました。大人のネット利用は、仕事や生活に直結する部分も多く、特定の操作に限られることもありますが、子どもたちのネット利用方法は日々変わり続けています。それは大人の知らないような情報交換の場であり、想像をはるかに超える利用方法なのです。



ネットに「ハマる」子どもたち

多くの家庭でネットが普及し、街中のWi-Fi利用エリアも増えてきた現在では、さまざまなネット端末機で情報交換する子どもたちが増えてきました。特にポータブルゲーム機や携帯音楽プレイヤーでコメントのやり取りができてしまうので、友だちと遊ぶにしてもネット端末で予定を話し合います。小中学生の所有率も年々増加しています。

なりたい自分になれるネット上の自分

ネットの中ならなりたい自分になれる、実社会では受け入れられなくても、本当の自分を知らないネット上の相手となら何でも話せます。「かわいいね」と言われたり、「スポーツが得意だ」と言ってもネット上なら本当のことかわかりません。知らない相手だからこそ本音や悩みを打ち明けられるということもあります。しかし、ネットの向こうには優しい言葉で近づき、心の中まで入り込む不審者もいます。

つぶやかずにはいられない

ポータブル端末機を使用し、低年齢からチャットをしている児童も見受けられます。マナーやモラルを意識できる年齢になる前から操作だけできてしまうとネットでの配慮を欠いたコミュニケーションや書き込みが習慣化する恐れがあります。実際、高学年になると、つぶやきや書き込み内容をめぐってトラブルとなることもあります。



ネット上の友だち

長年ネット上でつながってきた相手を何年も付き合っている親友だと感じてしまうこともあります。一度心を許してしまうと、「あの人は私を支えてくれている」「私があの子を支えている」と思い込んでしまいます。“悩み相談ルーム”と称し、家庭状況を聞き出したり、「カラダ」の質問を受け付け、子どもにとって身近になったカメラで裸の画像投稿を促すこともあります。

「まだスマホは持たせていない」「使用料は毎月チェックしているから大丈夫!」といった声も聞かれますが、機種交換後の解約済みスマホでもWi-Fi端末としてネット上でつながることは可能です。ポータブルゲーム機での“すれ違い通信”によるトラブルも多く、無料アプリの使用により以前よりも使用状況を把握することは難しくなっています。

ネット利用が低年齢化し、自由に端末を使用している子どもは危険性を意識できていません。学校では、情報モラル教室などを実施し、子どもたちへの啓発を進めています。ご家庭でも、発達段階に応じた「家庭のルール決め」を行うなど、悪意のある人物からの声かけや被害にあわないよう、子どもたちの利用状況を理解して、危険性を伝えていただきたいと思います。